

全国学校ギター合奏コンクール2024 審査講評

A-5番 団体名 芝学園ギター部

課題曲 曲名：合奏協奏曲 作品6の10よりガヴォット／G. F. ヘンデル（新堀寛己編）＜指揮：岸直宏＞

自由曲 曲名：2つのヴァイオリンのための協奏曲BWV1043-3／J. S. バッハ（工藤健一編）

＜指揮：前田遼吾＞

審査員名	課題曲	自由曲
新堀	マナー○アナリーゼ○技術○音色○ 丸く振る曲ではなく、すっきり直線的に振ってください。 チェンバロギターの音色がホットします。少し早すぎる。 頂点の意識○。ギターン、40cmまでのびのび弾く手の動作 ができるようにしてください。エンディング×	マナー○アナリーゼ○技術○音色○ 指揮者、左手の無駄が多い。編成のバランス○。 チェンバロギター生かした。しかし、ハリをもう少し。ギターの音 に近すぎるので、もう少しブリッジ寄りで弾いてください。 身体、石のよう。拍手大きい○。良いサウンド。エンディング×
竹内	強弱といい、フレーズのあり方といい、よく考えられています。 アンサンブルとしても全体の響きがまとまっていて、品 良くできている。	同じバロック曲でありながら印象を変えて演奏するのは面白 かった。ただ、強拍をどれぐらい強く弾けば、品よくfとしてまと まるか一層考えてほしい。もちろん美しいfも多くあります。それを 持続できればとても良くなると思います。 個性的で素晴らしいし、アンサンブルとしては秀逸です。
猿谷	芝学園ギターサウンドを楽しめた。	よく練習しているのがわかる。
堀	音が明るく力強く、強い個性を感じる。 この時代の様式美であるエコーも美しい。 アルトチェンバロのピッチがあっていないのがもったいな い。	ソリストのチャレンジは素晴らしいのですが…。細かな部分の ディテールが見えづらく、解像度の高い演奏には感じられな かった。 協奏曲はソロとオケの対比が成立背景・生命線です。 ソロ、オケともに課題を感じずにはいられませんでした。
柴田	メリハリのきいたいい演奏だ。ダイナミクスもあり、いいバロッ クだ。	気になる指揮だ！形は悪いが好きな指揮だ。 全員を上手くリードしていい演奏になっている。
中島	アナリーゼ△ テヌートの音がすべて杭打ちのように下に向いてしまっ ている。長いクレッシェンドの後のffの後のpの表示がないの にpにしてしまっている。音は荒いがドライブ感あり。元気。	指揮は強弱を表現していなくて、緊迫感が無い。 音が濁るのは調弦？消音？タッチ？押さえ方に工夫を。 「勢い」があるのが良い。

【お問い合わせ】

全国学校ギター合奏コンクール2024 開催事務局(現代ギター社内)

〒171-0044 東京都豊島区千早1-16-14

Tel.03-3530-5341